
カナダからの手紙

北原誠二

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カナダからの手紙

【Nコード】

N5939E

【作者名】

北原誠二

【あらすじ】

カナダからの手紙。それがあって生きていけた。泣いて笑って10年たった。その思いをパッケージにして書きました。

カナダからの手紙

大好きなナンシーへ。

日本に帰って、ようやく就職できました。ナンシーはどうですか。カナダは今、一番冬が厳しい季節ですね。東京も寒いです。

ところで関西空港（KIX）からトロントへ直行便ができましたね。

今度、休みをもらったらそれでまたナンシーの家に遊びに行こうと思います。

もちろん添乗ついでに寄りたいけど、まあ、冬の期間はだれもカナダにはいきたがらないからあんまり期待しないで。元気で。

十二月十日

メリークリスマス 愛し

てる。 ヒロ

ヒロ、元気ですか。ナンシーは元気です。日本語もだいぶ上手になって手紙も書けるようになったけど漢字だけは私には芸術にしか見えません。日本語学校にも通っていますがとても難しい。でも頑張ります。いつかヒロと日本で暮らしたいから。今日、トロントはマイナス八度です。でも、いつもの年よりは寒くないです。リスやガチヨウは元気に飛び回っています。私より元気です。日本はどうですか。年が明けたら遊びに行きますね。ヒロに会いたいです。

メリークリ

スマス 愛してる。

20日 / 1

2月

ナンシー

1994年、僕は日本に帰国した。1年バイトしてようやく稼いだお金を全部使って留学したけど、帰ってきてみると日本は空前の不況の中。就職したといっても日給六千円の海外旅行の添乗員だった。

この年、旅行業界は空前の不況だったが、関西国際空港と円高のおかげでようやくお客さんが帰ってきたところだった。恋人のナンシーとはお互いどちらの国に暮らすか決めないまま結婚の約束だけをして準備をしていたが、あつという間に年があけ1995年になった。

そのナンシーが東京に遊びにくるという。期待と不安でいっぱいだったが結論はいまは出さずにいよう。会えば分かることだ。

そんな僕に関西国際空港勤務の事例が下りたのは1月の15日のことだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5939e/>

カナダからの手紙

2011年1月27日04時03分発行